

取扱説明書



赤外線コードレススピーカーシステム

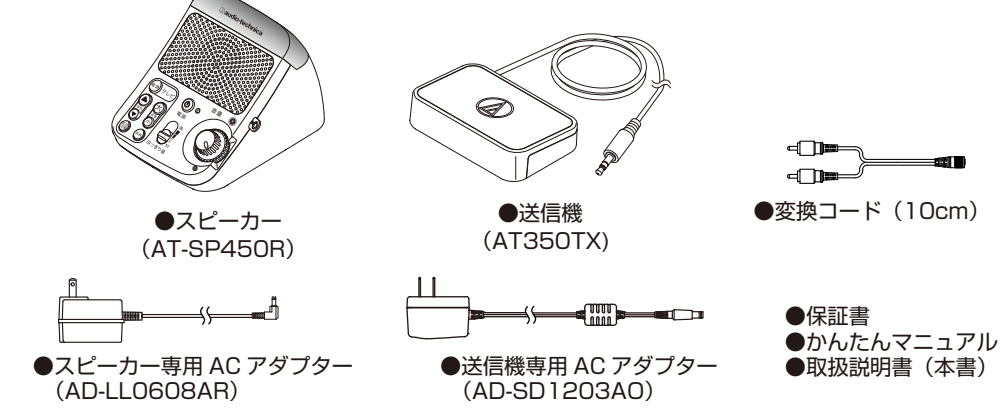
AT-SP450TV

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

一部のリモコン付き暖房器具において、家電製品のリモコン操作やノイズで、暖房器具のヒーターが点灯するなどの誤作動が報告されています。
リモコン付き暖房器具をご使用のお客様におかれましては、本製品のリモコンを使用される際、リモコン付き暖房器具の誤作動に充分ご注意ください。

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口(→16 ページ)までご連絡ください。



安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

電池について

指定電池	単 3 形アルカリ乾電池または単 3 形ニッケル水素電池 ×4(別売)
------	-------------------------------------



危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない

すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。

・万一なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。

・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。

・皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。



警告

●火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない

発熱、破損、発火の原因になります。

●幼児の手の届く所に置かない

電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

●電池は (+) (-) を逆に入れない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の (+) と (-) を接続しない

ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●乾電池は充電しない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使い切った電池はすぐに取り出す

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●長期間使用しない場合は電池を取り出す

液漏れによる故障の原因になります。



注意

●落下させたり強い衝撃を与えない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない

・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所

・炎天下の車内

・ストーブなどの熱源の近く

液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない

発熱、破損、発火の原因になります。

●外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない

ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●変形させたりハンダ付けしない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●保管、廃棄の場合は端子 (金属部分) をテープなどで絶縁する

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●機器を使用したあとは必ず電源を切る

液漏れの多くは、電源の切り忘れによる電池の消耗が原因です。

●指定の電池以外使用しない

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する

環境保全に配慮してください。

使用上の注意

【スピーカー／送信機について】

●ご使用の際は、接続するテレビの取扱説明書も必ずお読みください。

●プラズマテレビでは使用できません。

●本製品以外の赤外線方式を採用したコードレスヘッドホンやコードレスマイクを同時に使用することはできません。

●送信機は同時に 2 台以上使用することはできません。

●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。

●本製品はモノラルスピーカーです。ステレオ再生機器と接続した場合、モノラルで再生されます。

●直射日光が当たる場所や照明器具の光、コードレスマウス、IH 調理器などの電磁波の影響で、音声が出たりノイズが出る場合があります。

●長い間使用すると紫外線 (特に直射日光) により本体やコードが色あせる場合があります。

●AC アダプター、接続コード、変換コードのプラグは根元まで確実に差し込んでください。

●AC アダプターの抜き差しは、電源を切ってから行ってください。

●AC アダプター、接続コード、変換コードは、コードの断線などを防ぐため、コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。

●φ3.5mm ステレオ／モノラルミニジャックのヘッドホン端子、またはピンジャックのライン出力端子以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。

【リモコン部について】

●はじめにメーカー設定が必要です。必ずメーカー設定をしてから使用してください。

●海外向け商品には対応していません。

●赤外線リモコン付きのテレビのみ操作することができます。

●データ放送には対応していません。

●Blu-ray Disc、DVD などの操作、メニューなどカーソルボタンを必要とする操作はできません。

●2016 年 3 月までに発売されたテレビで検証していますが、一部のテレビでは該年度でも使用できない場合があります。

また、2016 年 4 月以降に発売されたテレビについても使用できない場合があります。

●太陽光など強い光が当たる場所では、リモコン機能が正常に動作しない場合があります。

●下記の機器には対応していません。

・地上アナログテレビ

・ビデオ一体型テレビ

・車載用テレビ

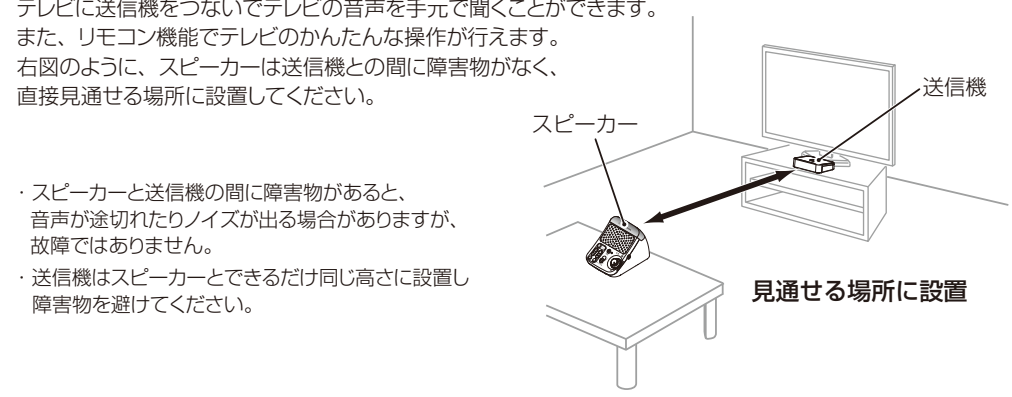
・ディスプレイとレシーバーがセパレートタイプのテレビ

・テレビチューナー一体型のパソコン

・ポータブルテレビ

設置について

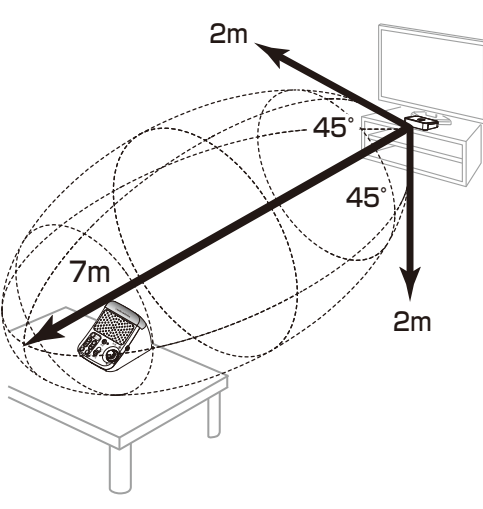
本製品は赤外線を利用した機器です。
テレビに送信機をつないでテレビの音声を手元で聞くことができます。
また、リモコン機能でテレビのかんたんな操作が行えます。
右図のように、スピーカーは送信機との間に障害物がなく、直接見通せる場所に設置してください。



リスニングエリア／リモコン動作範囲について

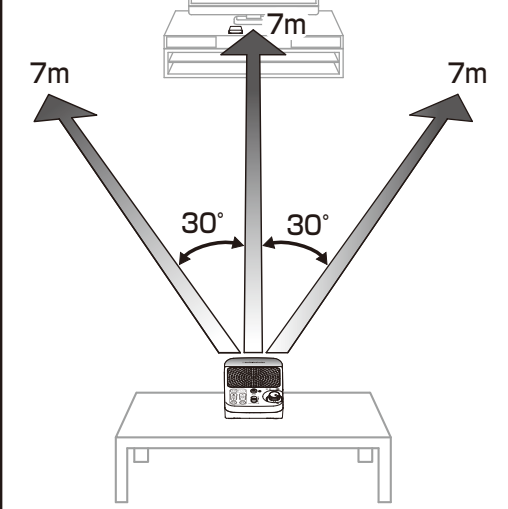
【リスニングエリアについて】

スピーカーの位置が送信機に対して、正面は約 7m、上下左右 45° は約 2m の範囲で使用できます。スピーカーはどの向きでも設置できます。



【リモコン動作範囲について】

テレビの位置がスピーカーに対して、正面、左右 30° 約 7m の範囲で使用できます。



・リスニングエリア内でも、直射日光が当たる場所や照明器具、コードレスマウス、IH 調理器などの近くでは光や電磁波の影響を受けやすくなります。それらを避けた場所に設置してください。

・リスニングエリア内でも、送信機から離れることで雑音が増えますが、故障ではありません。できるだけ聞きやすい場所に設置してください。

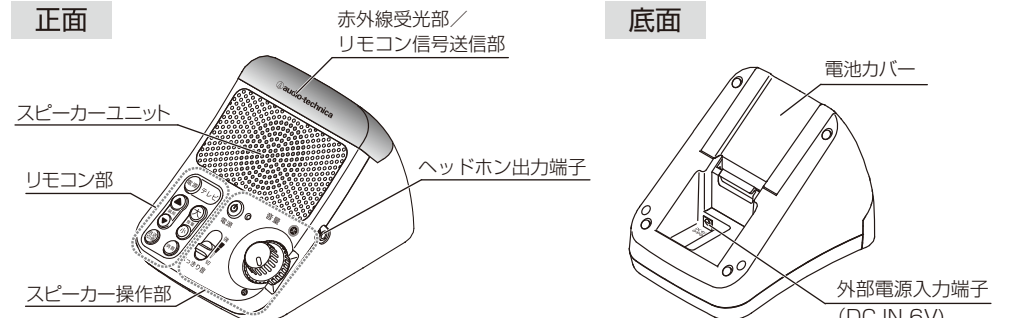
・暗い色の壁紙の部屋など、使用する環境によってはリスニングエリアが狭くなる場合があります。

各部の名称

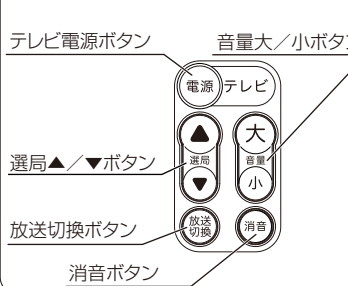
スピーカー AT-SP450R

正面

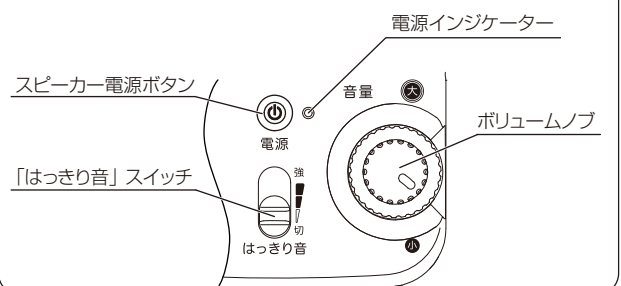
底面



【リモコン部】



【スピーカー操作部】



送信機 AT350TX

正面

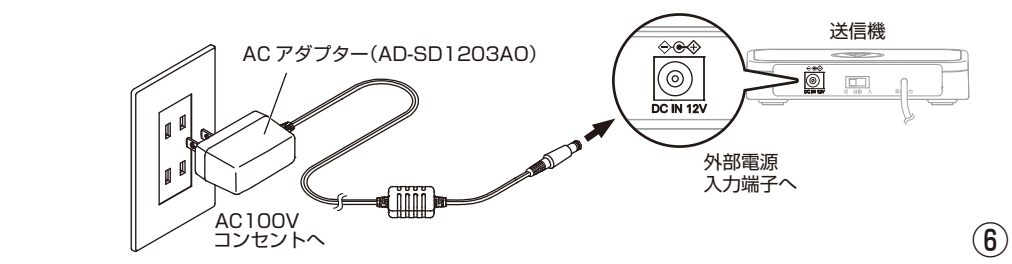
背面



送信機を準備する

1. 送信機の電源切換スイッチが「切」になっていることをご確認ください。

2. 送信機の外部入力端子と付属の送信機専用 AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。



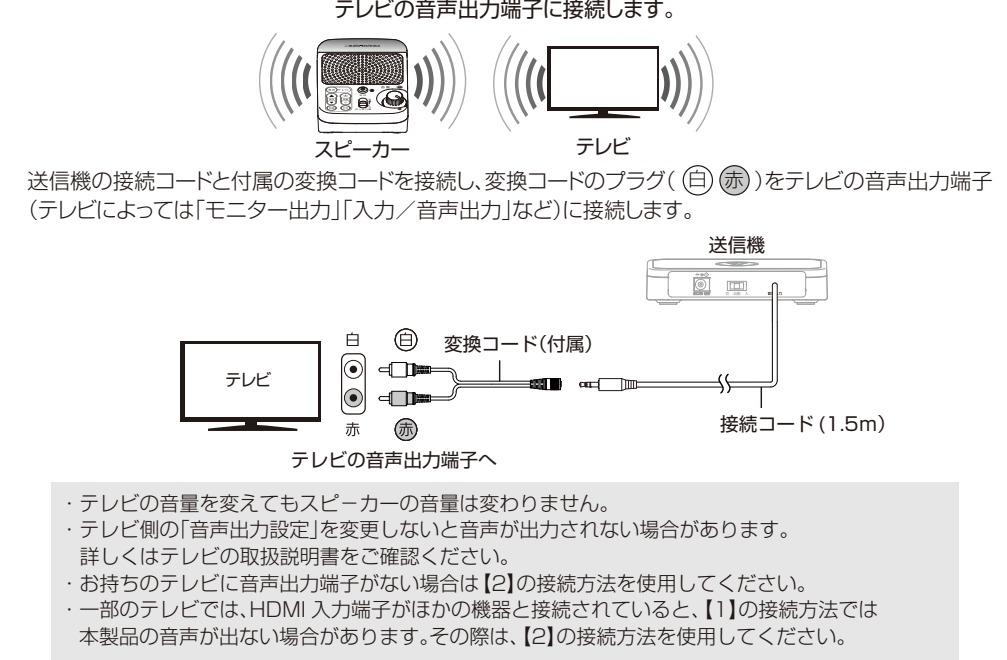
テレビとの接続のしかた

●接続するテレビの取扱説明書も併せてお読みください。

●テレビとの接続は使用したい場面にあわせて、以下の 2 種類の方法があります。

【1】スピーカーとテレビの両方から音声を出したい場合

テレビの音声出力端子に接続します。



・テレビの音量を変えてもスピーカーの音量は変わりません。

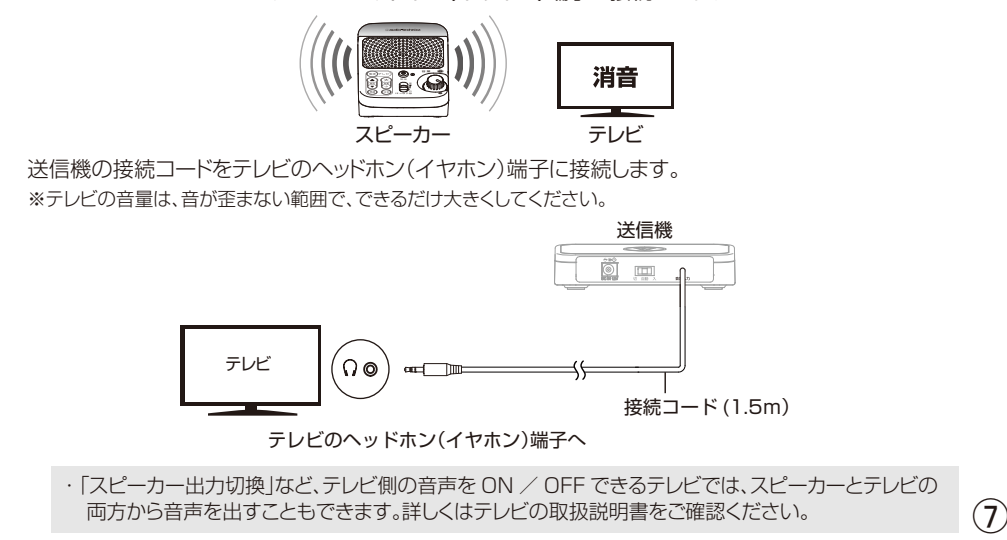
・テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと音声が出力されない場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

・お持ちのテレビに音声出力端子がない場合は【2】の接続方法を使用してください。

・一部のテレビでは、HDMI 入力端子がほかの機器と接続されていると、【1】の接続方法では本製品の音声が出ない場合があります。その際は、【2】の接続方法を使用してください。

【2】テレビの音は消してスピーカーだけ音声を出したい場合

テレビのヘッドホン(イヤホン)端子に接続します。



・「スピーカー出力切換」など、テレビ側の音声を ON / OFF できるテレビでは、スピーカーとテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

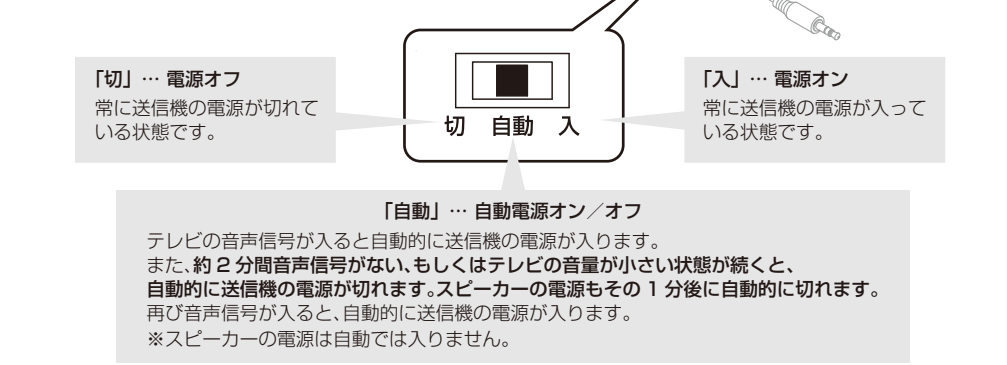
送信機の電源切換を設定する

●使用する前に送信機の準備、テレビとの接続を確認してください。

●接続するテレビの取扱説明書も併せてお読みください。

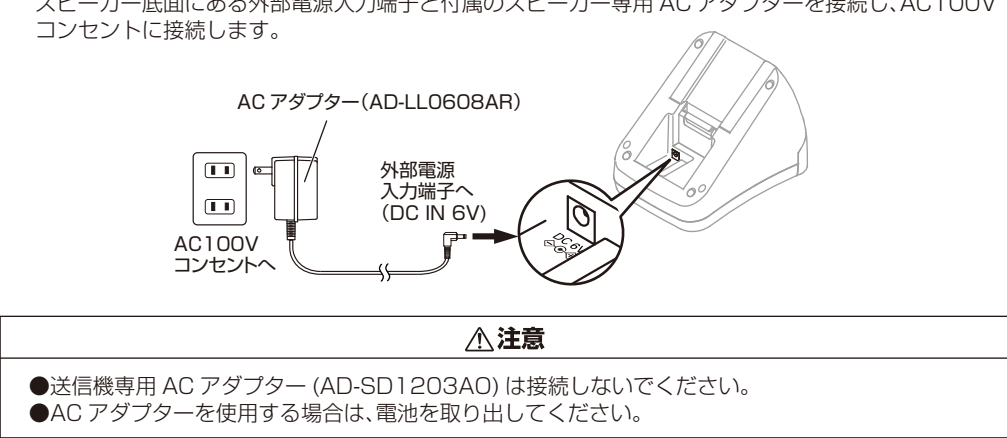
送信機の電源切換スイッチは「切」、「自動」、「入」の 3 段階の切り換えになっています。

お買い上げ時の電源切換スイッチは「切」の状態にセットされていますので、使用状況によって電源の切り換えを行ってください。



ACアダプターでスピーカーを使用する

スピーカー底面にある外部電源入力端子と付属のスピーカー専用 AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。



●送信機専用 AC アダプター (AD-SD1203AO) は接続しないでください。

●AC アダプターを使用する場合は、電池を取り出してください。

2

3

4

5

6

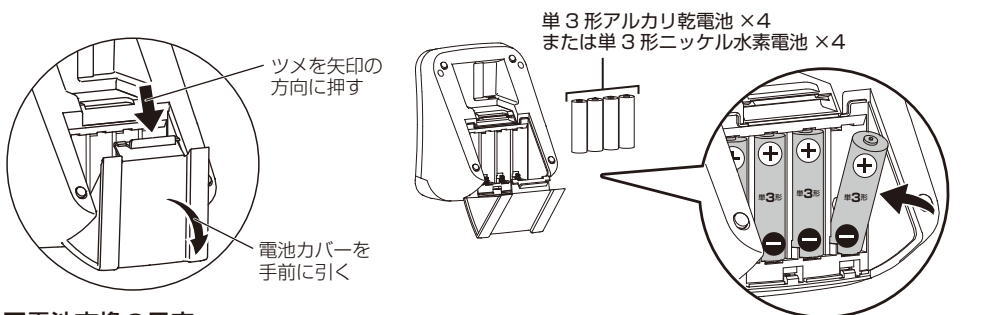
7

8

9

電池でスピーカーを使用する

- ツメを押して電池カバーを外します。
- 単 3 形電池 4 本を本体の極性表示 (⊕ ⊖ の表示) に合わせて入れます。
- 電池カバーを「カチッ」と音がするまで戻します。



■電池交換の目安

- 電池残量が少なくなると、リモコン部のボタンを押した際にスピーカーの音に雑音が入る場合があります。また、リモコンの動作範囲が狭くなります。その場合は付属の AC アダプターを使用するか、新しい電池に交換する、または充電式電池を使用の場合は充電してください。
- 電池残量がなくなると、「ピーピーピー」と音が鳴りながら電源インジケータが点滅し、電源が切れます。
- 長い間使用しない場合は電池を取り出してください。

スピーカーの使いかた

スピーカーの電源が切れていることを確認し、テレビの電源を入れます。
※音声はモノラルになります。主音声、副音声がある番組などでは、両方の音声が同時に出力されます。



9

スピーカーの使いかた(つづき)

ヘッドホン出力機能

モノラルヘッドホンをお持ちの場合、スピーカーのヘッドホン出力端子に接続すると、テレビの音声をヘッドホンで聞くことができます。

スピーカーのボリュームノブで音量を調整してください。

- ・スピーカーからは音が出なくなります。
- ・ステレオヘッドホンを接続した場合は、ヘッドホンの左側から左右の音声が集まって出力されます。
- ・ステレオヘッドホンを使用して両側から音声を出力したい場合は、市販のステレオモノラル変換プラグアダプターが必要です。この場合、ヘッドホンの両側からそれぞれ左右の音声が集まって出力されます。
- ・「はっきり音」スイッチを入れると、スピーカー同様に音声やセリフを明瞭に聞くことができます。

自動電源オフ機能

送信機の電源切換スイッチが「自動」の場合、約 2 分間音声信号がない、もしくはテレビの音量が小さい状態が続くと自動的に送信機の電源が切れ、待機状態(省エネモード)になります。

送信機の電源が切れてから約 1 分後にスピーカーの電源も切れ、電源インジケータが消灯します。

※送信機の電源切換スイッチが「入」の場合は、スピーカーの自動電源オフ機能は働きません。

左記の待機状態で、テレビからの音声信号が入ると自動的に送信機の電源が入ります。スピーカーの電源が切れている場合は、スピーカー電源ボタンを押して電源を入れてください。

リモコンの設定のしかた

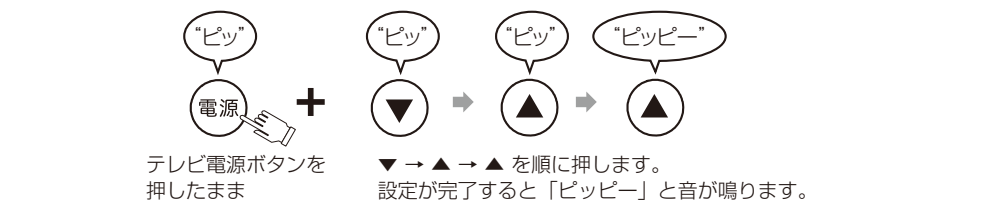
本製品のリモコン部は、お持ちのテレビでできるようにするため、メーカー設定が必要です。必ずメーカー設定をしてから使用してください。

1.メーカー設定をする

テレビ電源ボタンを押したまま、下記設定手順一覧表のボタンを順に押してから、テレビ電源ボタンを離します。

例) シャープ社の地上デジタルテレビを設定する場合

シャープ社のテレビは設定手順が 2 種類あります。はじめに▼⇒▲⇒▲から設定を行います。



“ビー” または “ビッビッビー” と鳴った場合

設定が完了していません。

- ・ボタンを押し間違えていませんか？
- ・設定中にテレビ電源ボタンを離していませんか？
- ・20 秒以上操作をしない場合は設定状態が解除されます。

→ もう一度設定をやり直してください。

メーカー設定のロックを解除してください。

・「メーカー設定ロック機能の使いかた」を参照してください。(→13 ページ)

設定手順一覧表	
メーカー	設定手順
ソニー	電源 + ▼ ⇒ 大 ⇒ ▲
	電源 + ▼ ⇒ 大 ⇒ ▼
	電源 + ▼ ⇒ 大 ⇒ 小
パナソニック	電源 + ▼ ⇒ ▼ ⇒ 大
東芝	電源 + ▼ ⇒ 大 ⇒ 大
日立	電源 + ▼ ⇒ ▼ ⇒ 大
	電源 + ▼ ⇒ ▼ ⇒ ▼
三菱電機	電源 + ▼ ⇒ ▼ ⇒ 小
サンヨー	電源 + ▼ ⇒ ▲ ⇒ 小
シャープ	電源 + ▼ ⇒ ▲ ⇒ ▲
パイオニア	電源 + ▼ ⇒ 小 ⇒ 小
DX アンテナ	電源 + ▼ ⇒ 小 ⇒ ▲
JVC (ビクター)	電源 + ▼ ⇒ ▲ ⇒ 大

2.動作の確認をする

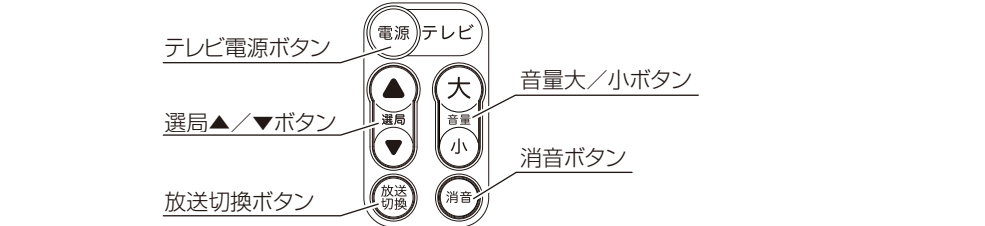
リモコン部を操作して、テレビが一通り動作すれば設定完了です。テレビの電源が入らない、一部のボタンが動作しないなど、うまく動作しない場合はもう一度メーカー設定を行うか、設定手順が複数ある場合には別の設定でやり直してください。

- ・メーカーによっては機能の名称が異なることがあります。
- ・設定やテレビによっては一部の機能が操作できない場合があります。

11

リモコンの使いかた

テレビのかんたんな操作をすることができます。
※スピーカーの電源が入っていないくても、テレビの操作が可能です。



操作内容	操作方法
テレビの電源を入/切したい	テレビ電源ボタンを押します。
放送を切り換えたい	放送切換ボタンを押して放送を切り換えます。
チャンネルを換えたい	選局▲/▼ボタンを押してチャンネルを選択します。
テレビの音量を調整したい	音量大/小ボタンを押して音量を調整します。
テレビの音声を一時的に消したい	消音ボタンを押します。 音声を出したいときはもう一度ボタンを押します。

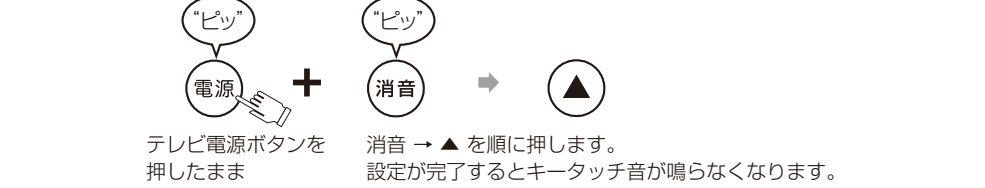
※テレビの電源を本製品のリモコンで入/切する場合、テレビによっては雑音が入ることがありますが故障ではありません。

キータッチ音機能について

“ビッ” と鳴るキータッチ音を消すことができます。
※工場出荷時、キータッチ音は鳴る設定になっています。

設定手順

テレビ電源ボタンを押したまま、消音ボタン、選局▲ボタンの順に押します。



再びキータッチ音を鳴らしたい場合は、消すときと同じ手順で設定します。キータッチ音を鳴らす設定が完了すると「ビッビー」と音が鳴ります。

12

メーカー設定ロック機能について

設定が誤って変更されるのを防ぐためメーカー設定をロックすることができます。
※工場出荷時、メーカー設定はロックされていません。

メーカー設定をロックしたいとき

テレビ電源ボタンを押したまま、放送切換ボタン、選局▲ボタンの順に押します。
“ビッビー” と音が鳴り、メーカー設定がロックされます。

メーカー設定のロックを解除したいとき

テレビ電源ボタンを押したまま、放送切換ボタン、選局▼ボタンの順に押します。
“ビッビービッビー” と音が鳴り、メーカー設定のロックが解除されます。

ボタン押しっぱなしガード機能について

本製品は、リモコン部のボタンが誤って押し続けられることによる電池消耗を防止するため、一定時間(約 60 秒)リモコン部のボタンが押し続けられると、信号送信が自動的に止まります。
※設定は不要です。

外形寸法図

(単位:mm)

13

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	ご確認ください	対処方法
音が歪む／途切れる	正しく設置されていますか?	→送信機とスピーカーの間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください(5 ページ) →送信機とスピーカーの間は 7m 以内で使用してください(5 ページ) →送信機とスピーカーの位置や角度を調整してください(5 ページ) →送信機の赤外線発光部とスピーカーの赤外線受光部を覆わないように使用してください(5 ページ、6 ページ)
	メーカー設定が	→メーカー設定ロック機能を解除してください(13 ページ)
テレビが動作しない	メーカー設定はされていますか? テレビの主電源は入っていますか? テレビは対応していますか?	→メーカー設定をしてください(11 ページ) →テレビの主電源を入れてください →対応しているテレビかご確認ください(4 ページ)
	直射日光の当たる場所で使用していませんか? スピーカーの電池が消耗していませんか?	→カーテンなどでスピーカーやテレビに直射日光が当たらないようにする、直射日光の当たらない場所で使用してください(4 ページ、5 ページ) →新しい電池にするか、充電式電池は充電してください(9 ページ) →付属の AC アダプター (AD-LLO608AR) を使用してください(8 ページ)
キータッチ音が	キータッチ音が鳴らない設定になっていませんか?	→キータッチ音を鳴らす設定にしてください(12 ページ)
ボタン操作が	操作しようとしているボタン以外のボタンが押しっぱなしになっていませんか?	→押されているボタンを離して、再度操作してください(13 ページ)
症状が良くならない場合は		→お買い上げの販売店、または当社のお客様相談窓口へお問い合わせください(16 ページ)

15

テクニカルデータ

- 受信システム
送信方式 : 赤外線 FM 変調、モノラル、1 周波タイプ
搬送波周波数 : 2.8MHz
赤外線波長 : 850 ~ 900nm
リスニングエリア : 約 7m (正面)、約 2m (上下左右 45°)
- スピーカー AT-SP450R
型式 : アンプ内蔵スピーカーシステム
スピーカーユニット : φ52mm
最大出力 : 1W (付属の AC アダプター使用時)、0.75W (単 3 形アルカリ乾電池使用時)、0.45W (単 3 形ニッケル水素電池使用時)
出力端子 : φ3.5mm モノラルミニジャック
電源 : DC6V (付属の AC アダプターを使用、日本国内専用)、または単 3 形アルカリ乾電池 ×4 (別売)、単 3 形ニッケル水素電池 ×4 (別売)
連続使用時間 : 約 40 時間 (単 3 形アルカリ乾電池 10mW 出力時)、約 30 時間 (単 3 形ニッケル水素電池 10mW 出力時)
外形寸法 : H110×W106×D160mm
質量 (電池除く) : 約 490g
リモコン送信方式 : パルス変調搬送波赤外線発光方式
リモコン送信範囲 : 約 7m (正面、左右 30°)
- 送信機 AT350TX
電源 : DC12V (付属の AC アダプターを使用、日本国内専用)
入力端子 : φ3.5mm ステレオミニプラグ (1.5m)
外形寸法 : H28×W104×D68mm
質量 : 約 90g
- 付属品
変換コード : RCA ビンプラグ ×2 - φ3.5mm ステレオミニジャック (10cm)
スピーカー専用 AC アダプター : AD-LLO608AR
送信機専用 AC アダプター : AD-SD1203AO

改良などのため予告なく変更することがあります。

※記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続、注意書きに従ったご使用において故障した場合は、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない場合は、交換させていただきます。
お買い上げの領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

製品の仕様、使いかたや修理、部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎0120-773-417
(携帯電話・FAX 対応) ☎0120-887-416
FAX : 042-739-9120 Eメール : support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(修理・部品) ☎0120-887-416
(携帯電話・FAX 対応) ☎03-6746-0212
FAX : 042-739-9120 Eメール : servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/at/support/

株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬 2-46-1
http://www.audio-technica.co.jp

192900240 2016.04

10

14

16